

**地域拠点 A における利用者層の変化から検討する地域拠点の意義**

—地域 X における福祉施策の変遷に注目して—

○ 日本社会事業大学 倉持 香苗 (5372)

キーワード：地域拠点、地域拠点の意義、質的調査

**1. 研究目的**

本研究の目的は、地域拠点 A が設置されている地域 X における施策との関連から、地域を基盤とする地域拠点（住民の活動拠点）<sup>(1)</sup> の意義について検討することである。

地域拠点については、厚生労働省の地域力強化検討会（2017）による最終とりまとめや、最終とりまとめに至る経緯において、その重要性が指摘されてきた<sup>(2)</sup>。

報告者はこれまでの研究において、利用者（参加者）およびスタッフに対するアンケート調査およびヒアリング調査を実施し、地域拠点の意義について考察を深めてきた。こうした研究成果を踏まえ、地域拠点 A の運営記録を分析したところ、利用者（参加者）層の変化は、地域拠点 A が設置されている地域 X の施策を反映しているのではないかと考えられた。そこで本報告では、地域 X における福祉施策の変遷を中心として、地域拠点の意義について考察する。

**2. 研究の視点および方法**

報告者はこれまで、地域拠点を利用する側および運営する側から捉えた地域拠点の意義について検討してきた。本研究では地域 X における福祉施策の変遷を整理しながら、地域拠点 A の利用者層の変化について検討し、地域拠点の意義について考察する。

先に述べたとおり、報告者は従来、地域拠点の意義に関する研究として、利用者（参加者）および運営者に対する調査を中心として取り組んでいた。今回は福祉施策の変遷を中心とした分析をおこなった。さらに、参与観察の記録を活用し、複合的な分析を試みた。本研究の特徴はこうした点にあると考えている。

研究の方法は以下のとおりである。

- (1) 活動記録の収集およびデータ作成：業務日誌や発行物の内容を整理しながら、プログラム内容、利用者数、利用者層に関するデータ資料を作成した。
- (2) 地域 X の施策の整理：地域拠点 A の運営期間を参照しながら、地域拠点 A がある地域 X の施策について整理した。
- (3) 参与観察記録の活用：資料分析で得られた知見について、参与観察記録を参考に考察を試みた。

### 3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会研究倫理指針を遵守している。また、運営者に対し本研究の趣旨および秘密保持に関する説明をおこない同意を得ている。活動記録閲覧の際には、利用者が過ごす部屋とは別の部屋で閲覧し、実践内容を整理する際には個人が特定されないよう、固有名詞をアルファベット順に置き換える等の配慮をした。

### 4. 研究結果

地域拠点 A の活動は 20 年を超えている。その間、社会福祉に関する施策は変化した。

障害の有無に関わらず誰もが利用できる拠点 A は、開設当初は障がい児の利用が多かった。すなわち地域拠点 A で過ごすことは、障がいに対する理解を深める場すなわち福祉教育の場になっていたと考えられる。しかし地域 X で放課後等デイサービスが整備されるに伴い、障がい児の利用は減少した。その後、子育てに悩む母と子の利用が顕著になるが、地域 X において子育て支援施設が整備されるに伴い、そうした親子の利用の増加は見られなくなった。近年では、定年退職者や単身高齢者の利用が見られる。地域で何かしたいという定年退職者が他機関から紹介され、拠点 A の利用に至る例や、福祉サービスのプログラムの一環として地域拠点 A で過ごす、すなわち福祉サービス事業所の利用者とスタッフが地域拠点を利用するという例がみられるようになった。

### 5. 考察

本研究から以下の 2 点が考えられた。第一に、地域拠点は、公的な支援を求めている利用者にとっての居場所として機能しているのではないかという点。第二に、地域で過ごす場あるいは活躍できる場を求めている者にとって、個人の尊厳が認められ、役割を担える場として機能しているのではないかという点である。換言すれば、地域拠点はニーズ把握の場として、さらに社会的孤立を予防する場としての役割を果たしていると考えられる。

#### <注>

(1) 厚生労働省 新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム (2015) 『誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—』では、「小さな拠点 (多世代交流・多機能型の福祉拠点)」と示されている。本研究においては、利用者層に制限が無く、誰もが利用することができる地域の拠点として捉えている。

(2) 例えば「住民による地域福祉活動が積極的におこなわれるための活動拠点」「小さな拠点 (多世代交流・多機能型の福祉拠)」 「地域課題を話し合う『場』」など。

#### <文献>

厚生労働省 地域力強化検討会 (2017) 『地域力強化検討会最終とりまとめ～地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ～』。